

年度・月 内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
①新しい学校施設の建設に関すること								
②施設の中長期的視点からの計画的・効率的な整備と多様な整備手法の活用に関すること								
基本構想・基本計画策定	[Yellow Bar] → [Blue Arrow]							
敷地造成設計		[Blue Bar] → [Blue Arrow]						
敷地造成工事			[Blue Bar] → [Blue Arrow]					
新校舎等設計				[Blue Bar] → [Blue Arrow]				
新校舎等建築工事					[Blue Bar] → [Blue Arrow]			

▲
部会開催予定

▲
3校先行統合

▲
4校統合

- ① 新しい学校施設の建設に関すること
新しい学校施設の建設については、文部科学省の「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」で令和4年4月に取りまとめられた「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の最終報告を基に「学び、生活、共創、安全、環境」の5つの姿※3を実現できる施設の整備を検討します。
※3「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告第3章(5つの姿の方向性)として
学び:個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
生活:新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
共創:地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現
安全:子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現
環境:脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現
- ② 施設の中長期的視点からの計画的・効率的な整備と多様な整備手法の活用に関することは次の通りとします。
新しい学校施設の整備については、メンテナンスの効率化、ランニングコストの抑制、施設の長寿命化及び、効率的な管理・運営の為、地域の防災・交流の拠点としての施設の複合化とPPP/PFI手法※5などの民間活力を活用した施設整備・維持管理を検討します。
※5 PPPは公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームであり、PFIは公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る考え方